

「生ごみバイオガス化施設」計画の見直しを求める 請願

【請願要旨】

「ごみになる物を作らない、燃やさない、埋め立てない」という環境先進都市を目指す町田市の理念に立ち返って、実効性のある生ごみ減量施策を見直して下さい。

- (1) 横須賀市・鎌倉市が家庭生ごみのメタン発酵計画が、事業採算性が取れないことを理由に撤退したこと。
- (2) 生ごみの完全分別収集がなされない場合；
焼却施設にバイオガス化施設を併用するより、焼却施設単独でエネルギーを回収する方が、総事業費・エネルギー回収率ともに勝るということ。
- (3) 町田方式・生ごみを含む燃やせるごみ、一日50トン（含水率約64%）バイオガス化した場合に発生する排水、バイオガス、残渣量の内訳は；

項 目	体 積	体 積 比	処理手法
発酵残渣	約30トン	40%	焼 却
水処理施設からの脱水汚泥	約14トン	18%	焼 却
水処理施設からの排水	約25トン	33%	放 流
バイオガス	約5～7トン	9%	燃 料

出展：環境資源部循環型施設整備課

エネルギー発生に利用される生ごみの割合は、極めて低く経済性が悪いこと。

【請願項目】

費用・方式・有効性の検証も不十分なまま、性急に施設計画を進めることに反対します。